

うらら 令和4(2022)年度事業報告

サービス部門（施設）

事業部門 みずべの苑	年度活動計画	目標値
入居サービス	基本方針 1. 安全でご入居者に寄り添ったサービスを定着・充実させていく。 2. 職員体制の安定と人材育成を図る。 ⇒職員体制の確保や寄り添ったサービスは提供できたが、充実したサービスや人材育成は計画的に進めることができなかった。 3. BCP（事業継続計画）を再構築する。 ⇒基本的なBCPは作成した。今後は対応実施訓練の予定。	
<u>みずべの苑特養</u> <重点課題> 「ふつう・あたりまえ」を実践するために、安全を軸においたご入居者に寄り添ったケアを行う。 ⇒感染予防のなかでふつうの生活は継続できたが、職員に個人差があり、職員皆が同一基準で提供できる組織体制には至っていない。	具体的活動 ① 丁寧なケアを継続して日々の生活を潤し、施設での穏やかな最期を迎えられるサービスを提供する。 ⇒入居者への穏やかな支援と看取りは提供できた。サービスの質の向上は今後の課題。 ② 安定した事業運営が図れる人員体制の確保とより使命感や意欲をもった人材の育成を図る。 ⇒人員体制の確保はできたが、人材育成については日々の業務運営にとどまった。 ③ 自然災害や感染症の発生時でも入居者と職員の安全を確保し業務を継続するためのBCP（事業継続計画）を再構築する。 ⇒施設内コロナ感染が3件（3人）あったがクラスターに至らなかった。火災及び水難避難訓練を実施したがBCP対応の訓練は令和5年度の課題とする。	目標値 ① 稼働率 96%⇒90% 介護報酬 295,000千円 ⇒287,523千円 人件費率 64%⇒65% ② 入所者空籍日数 14日以内 ⇒56日 退所者27名と増床による10床追加等の影響で空籍数が増えた。 看取り17件 その他退所10件 ③ 介護職員数 24名⇒24名 相談員1名（兼務）⇒1名 ケアマネジャー2名（兼務）⇒1名 看護職員（ショート兼務）6.5名 ⇒6.5名 ④ 行政への事故報告3件 ⑤ 苦情件数0件 ⑥ 行政からの実地検査等なし
<u>みずべの苑</u> <u>ショートステイ</u> <重点課題> 定期的な利用を継	具体的活動 ① みずべの苑ショートステイの役割と特徴を再構築する。 ⇒コロナ感染により一定期間新規受け入れを休止したが、年間を通して	目標値 ① 稼働率 105%⇒105% 介護報酬 67,000千円 ⇒63,600千円 人件費率 79%⇒82%

<p>続することで、安心した在宅生活支援ができるサービスの提供を行う。 ⇒21床を11床へ変更後もリピーター利用者の不都合はなく順調に稼働した。</p>	<p>在宅支援事業所として安定した事業運営ができた。</p> <p>② サービスの質の向上を図るとともに業務の効率化を図る。 ⇒職員間の連携を図り脳トレなど新たなサービスを導入したが、全体的なサービスの質の向上に至らなかった。</p> <p>③ 自然災害や感染症の発生時でもご利用者と職員の安全を確保し業務を継続するためのBCP（事業継続計画）を再構築する。 ⇒事業所内コロナ感染が3件（7名）あったがクラスターには至っていない。 火災及び水難避難訓練を実施したがBCP対応の訓練は令和5年度の課題とする。</p>	<p>② 介護職員数 8名 ⇒8名 相談員 1名 ⇒1名 看護職員（特養兼務）6.5名</p> <p>③ 事故報告数 2件</p> <p>④ 苦情件数 1件 行政からの実施検査等なし</p>
--	---	---